

会報

第57号

いまだ青春

編集発行

公益社団法人
萩広域シルバー
人材センター

～生きがいと地域のニーズを結びます～



永年会員として在籍し、誠実かつ意欲的に就業活動をされ、シルバー人材センターの事業発展と向上に寄与された次の皆様が受賞されました。おめでとうございます。

令和2年度 会員在籍20年及び10年被表彰者 (敬称略)

○会員在籍20年 4名

萩事務所管内 中村 久一 廣中 静江 山見 豊

むつみ出張所管内 小野 良夫

○会員在籍10年 20名

萩事務所管内

伊藤 立美 伊豫岡雅吉 片山 晃 河野ヤス子 水津 幸子
中原美智代 野村 宏 羽野猪一郎 安井 文夫 山田 一人
山中 明治 吉村 俊克

阿武出張所管内

小野 達男
河野 隆治
藤田 恒代

むつみ出張所管内

野間 忠雄
安田 隆治
矢次 正司

田万川出張所管内

熊谷 純行
須郷 伴要



新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における熱中症予防!

熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指し、屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

今夏は、新型コロナウイルスの出現に伴い、これまでとは異なる生活環境下で迎えることとなりますが、一方で例年以上に熱中症にも気をつけなければなりません。十分な感染症予防を行いながら、熱中症予防にもこれまで以上に心掛けるようにしましょう。

感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは次のとおりです。

●暑さを避ける

- ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
- ▶ 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調節
- ▶ 暑い日や時間帯は無理をしない
- ▶ 涼しい服装にする
- ▶ 急に暑くなった日等は特に注意する

●適宜マスクをはずしましょう

- ▶ 気温、湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ▶ 屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずす
- ▶ マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

●こまめに水分補給を

- ▶ のどが渇く前に水分補給
- ▶ 1日あたり1.2リットルを目安に
- ▶ 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

●日頃から健康管理を

- ▶ 日頃から体温測定、健康チェック
- ▶ 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

●暑さに備えた体づくりを

- ▶ 暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ▶ 水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ▶ 「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度



令和2年度 定時総会開催

公益社団法人萩広域シルバー人材センターの定時総会が六月二日(火)午後二時より萩市江向の萩市総合福祉センター大会議室で開催されました。

今年度の総会は、新型コロナウイルスの感染症の拡大防止の対応として、多くの会員が一堂に会することを避け、出席者については役員、地区世話人及びセンター職員に限定し、委任状の提出による議決権の代理行使の方法を採らせていただく等のご協力をお願いして、当日の出席者十八名、委任状提出者四百十九名、議決権の総数四百三十七名での開催となりました。

時間短縮の観点から、例年行われていた来賓のご臨席、会員表彰などは省略して、中村敏雄理事長のあいさつの後、萩市の木原百合雄さんを議長に選出し、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画と収支予算の報告が行われました。令和2年度の主な事業計画は、会員の拡大、就業機会の開拓・拡大、安全就業の推進、適正就業の推進、研修会・講習会の開催、中期財政計画の推進、会員会費の見直し、労働者派遣事業の推進となっております。その後、議案審議が行われ、令和元年度収支決算では、高寿事務局長が決算の内容を説明した後、藤村監事から監査報告があ

り、原案どおり承認可決されました。次に会費の額の改正では、会費の額を正会員、特別会員については年額三、〇〇〇円を年額二、四〇〇円に賛助会員については年額二、〇〇〇円を、六〇〇円に改正することが提案され、原案どおり承認可決されました。定款の一部改正は、理事の人数は変えずに新たに常務理事を設けるため所要の改正を行うもので、原案のとおり承認可決されました。また、今年度は役員の改選年度に当たり、理事七名、監事二名の改選が承認されました。

- ◆報告事項
 - 報告第一号 令和元年度事業報告の承認について
 - 報告第二号 令和2年度事業計画の報告について
 - 報告第三号 令和2年度収支予算の報告について
- ◆議事(提出議案)
 - 議案第一号 令和元年度収支決算の承認について
 - 議案第二号 会費の額の改正について
 - 議案第三号 定款の一部改正について
 - 議案第四号 役員の改選について



役員就任あいさつ



理事長 中村 敏雄

この度、理事長三期目を仰せつかりました。引き続き当センターの発展のために全力で取り組んでゆく所存です。

本年早々、新型コロナウイルスの関係で社会が大変混乱したところですが、当センターも少なからず影響がありました。一部の会員の皆様には本年三月から五月にかけて予定の仕事に就業できなかつたこともあり、大変申し訳なく思っています。

さて、平成二十九年度から赤字決算が続いたことから、昨年二月に「中期財政計画」を策定し、その計画に基づき、昨年七月にセンター職員を1名削減するとともに、本年四月には配分金の引上げを行いました。これにより、新型コロナウイルスがこのまま収束に向かえば、本年度は黒字に転換できるものと思っております。

役員一同、引き続き、会員の皆様の就業を第一に考え、あわせて安定した財政運営を目指しがんばってまいりますので、今後ともセンターの事業運営に対するご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



常務理事・事務局長 高壽 良行

「四月から事務局長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。」というあいさつで終わるはずでしたが、六月二日の定時総会、その後の理事会で、今年度から新たに設けられた常務理事に選定されました。大役を仰せつかりその責任の重大さを改めて痛感し、私にそのような大任が務まるのか不安を感じております。

微力ではございますが、鋭意努力してまいります。

会員のみなさまのご指導、ご協力よろしくお願いいたします。



理事 田中 寛治

会員の皆様には各職場において、元気に活躍のことと存じます。

この度、定時総会において新理事に選任されました。私自身、年齢と共に若い時のエネルギーは徐々に少なくなっておりますが、シルバー人材センターの会員の一人として今

で、つちかっただ経験等を生かし少しでも社会のために尽くしたいと考えています。又このことが自分にも社会にとっても利用価値があり、まさに生きがいにつながっていくものと感じます。そして日々、心にゆとりを持って健康に気をつけながら仕事に取り組みます。どうぞ会員の皆様も健康に留意し仕事に頑張りましょう。



理事 長岡 繁雄

理事就任第三期目となります。

今期は、適正就業・就業拡大委員会と広報委員会を担当することとなりました。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



理事 長谷 義明

三期目の理事就任となります。就任二期目も当法人内における関係諸規定の適正な整備という点に特に留意しながら、すべての理事会及び担当専門委員会に出席等いたしました。法令等は社会が置かれた状況等



理事 堀永 孝春

理事をお受けして、二期四年間を過ぎました。今期も安全委員を担当する事となりましたので、よろしくお願いいたします。

皆様が元気で働いていただくために、一年に一度は人間ドック等、健康チェックを受けていただきたいと思います。安全作業では、うっかりによる事故を防ぐようにして、「安全はすべてに優先する。」をモットーにして頑張っていきたいと思います。また安全巡回パトロール等でお世話になります。

今年度はコロナウイルスという厄介な物が流行しています。気を付けましょう。



理事 村田 郁子

今回、二期目となりまして、福祉家事援助委員会を担当させていただきました。

仕事先で、色々お話ししたり聞かせていただいたり、また、会員同士のお仲間も増えました。人と人とのつながりが出来た事、健康維持、社会と係わっているという感じ、これが私の生きる喜びとなっています。

まさに今、私はいまだ青春です。人生楽しんでいきます。微力ながら、より良いシルバー世代となりますよう努めたいと思っております。ご協力、ご指導よろしくお願い致します。



監事 藤村 季志

この度、監事の大役を仰せつかりました藤村でございます。光栄でもあり、身の引き締まる思いでございます。

現在、少子高齢化が進展し、高齢者人口が増加する中で、就業を希望する高齢者に就業機会を提供するとともに、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対する地域社会の期待は層おおきくなっています。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の考えのもと、会員役職員が丸ごとになって、社会経済の変化に対応しながら、効率的な事業運営財政基盤の確立に少しでもお役に立てれば幸いです。

皆さまからのご指導をお願いします。

役員退任あいさつ



前理事 中村 隆次

平成二十九年度職員の不幸事により役員を拝命致しまして二期四年間お世話になりました。

このたび、体調が思わしくないために退任いたしました。短い間ではありましたが、安全委員として各出張所の現場を訪れ、それぞれ苦労、努力されておられる様子を見させて頂きました。

今後共より一層精進され、安全作業に勤しんでください。また、これから暑さ厳しい時季、特に屋外作業での熱中症には気を付け、事故の無いよう働いてください。

最後になりましたが、今後共秋広域シルバー人材センターの益々の発展と会員一同のご健勝とご多幸をお祈り致しまして甚だ簡単でございますが退任の挨拶と致します。



前理事 吉屋 哲夫

今期で理事の役職を満了すること



前監事 松原 宏征

ができました。この大役を二期無事務めることができましたのは、理事長をはじめ役員、会員の皆様のおかげです。感謝申し上げます。思いもよらない貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございます。

今後は、襖・障子班でシルバー人材センターの理念である自主・自立・共働・共助を重んじながら良い仕事をし、注文が殺到することを念じながら向上心をもって頑張ります。どうかよろしくお願い致します。

この度、私退任することとなりましたが、早いもので監事の大役を何もわからないうちに引き受けて二期四年となりました。この間、事故もなく仕事をさせて頂きました。このことは、役員員の皆様のご指導ご鞭撻と、会員の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

今後も今以上にシルバー人材センターの発展と役員及び会員各位様のご健康とご多幸を祈念いたしまして退任の挨拶いたします。

安全就業について

安全就業の推進については、「安全はすべてに優先する」の理念のもと、安全就業基準の順守、健康チェックの実施など日々の活動を通じ会員の安全就業意識を高め、組織が一体となって安全対策の推進を図り、傷害事故や損害賠償事故の撲滅を図ることが重要です。

残念ですが、令和元年度においても事故が発生しています。

安全の確保は最優先の課題です。安全は自分の問題として取り組む「安全=自己管理」という意識を持つことが大切です。

～作業の安全を確保するために～

- ①服装・履物・保護具は、作業に適したものを着用しましょう。
- ②準備運動は必ずしましょう。
- ③周囲の状況をよく確認してから、作業にかかりましょう。
- ④使用する保護具や器具類の確認と点検をしましょう。
- ⑤作業別安全就業基準を再確認しましょう。

令和元年度の事故の状況

傷害事故

地区	発生日	就業内容	事故の状況
田万川	元.9.3	草刈作業	蜂刺症
須佐	元.9.12	草刈作業	蜂刺症
田万川	元.9.12	草刈作業	頭部打撲・裂傷、肩甲骨骨折

損害賠償事故

地区	発生日	就業内容	事故の状況
須佐	元.5.7	草刈作業	サッシのガラス破損
田万川	元.8.7	草刈作業	車のフロントガラス破損
萩	元.9.13	草刈作業	ビニールタン破損
田万川	元10.31	草刈作業	テレビの引込線切断
萩	元.11.8	草刈作業	窓ガラス破損

派遣業務事故

地区	発生日	就業内容	事故の状況
萩	元.8.15	資源物処理管理業務	腰痛症

この度、三月三十一日付をもって退職いたしました。平成二十八年四月に入社し、以来四年間という短い期間でしたが在職中皆様には公私に渡り大変お世話になりました。ありがとうございます。顧みますと諸々の事がありませんが、私にとってこの四年間は総じてセンターの最重要課題である会員拡大に尽力した四年間であったように思います。

会員増を図るためには、従前の取組みに加え各種の新たな施策に取り組んでいきました。その過程において「会員一人一会員獲得運動」では会員の皆様から多大なるご協力をいただき、心より感謝いたしております。

おかげをもちまして平成



森田 直人

職員の異動
退職（三月三十一日）

二十二年度以降減少を続けていた会員数は平成三十年度末には八名の増に転じ、令和元年度末には対前年度比で二桁の会員増となりました。引き続き今後も会員が増え続けていくよう願っています。

終わりになりますが、(公社)萩広域シルバー人材センターの益々のご発展ならびに皆様のさらなるご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



中村 尚子

採用（四月一日）

四月より嘱託職員としてお世話になっております。まだまだ目の前の仕事に悪戦苦闘の日々で、皆さんに助けていただいております。少しでも早く仕事を覚え、会員の方々のお手伝いが出来るよう頑張っていきたいと思っております。これからもご指導の程、よろしくお願いたします。

会員拡大に向けさらなる

ご協力をお願いいたします

会員拡大は、安定的なシルバー事業運営を図る根幹で重要な取り組みであることから、センターとしては毎月の定期的な入会説明会以外にも、必要に応じての臨時の入会説明会の開催、各種講習会の席でのシルバー人材センターへの入会勧誘、萩市・阿武町の広報誌への会員募集記事の掲載等の一連の取り組みに加え、平成三十年度から新たに夫婦とも会員の場合、どちらか一方の会員の会費を半額に減免する制度も導入し、配偶者を含む新規入会者の増を図ってきました。

また、健康上の理由等からセンターで従来通りの就業が困難になられた正会員（三年以上の在籍者に限る）で、引き続き当センターの会員としての権利義務を有したままセンターへの在籍を希望される会員を対象としたゴールド会員制度（会費は年額二、二〇〇円）を創設し、退会される会員の抑制にも努めてきたところです。

県シルバー人材センター連合会においても、令和元年十月から、県内各センターの会員紹介制度の活性化を図るため、新たに「会員紹介報奨制度」を導入されるなど、さらなる会員拡大に努めています。

今年度においても引き続き「会員の拡大」を事業計画の最優先課題としており、配偶者や友人・知人へ「人生を二度楽しもう！一緒に仕事しませんか。」と声を掛けてもらい、シルバー人材センターへの入会を勧めていただくなど、「会員一人一会員獲得運動」のなお一層の取組について、ご協力を宜しくお願いたします。



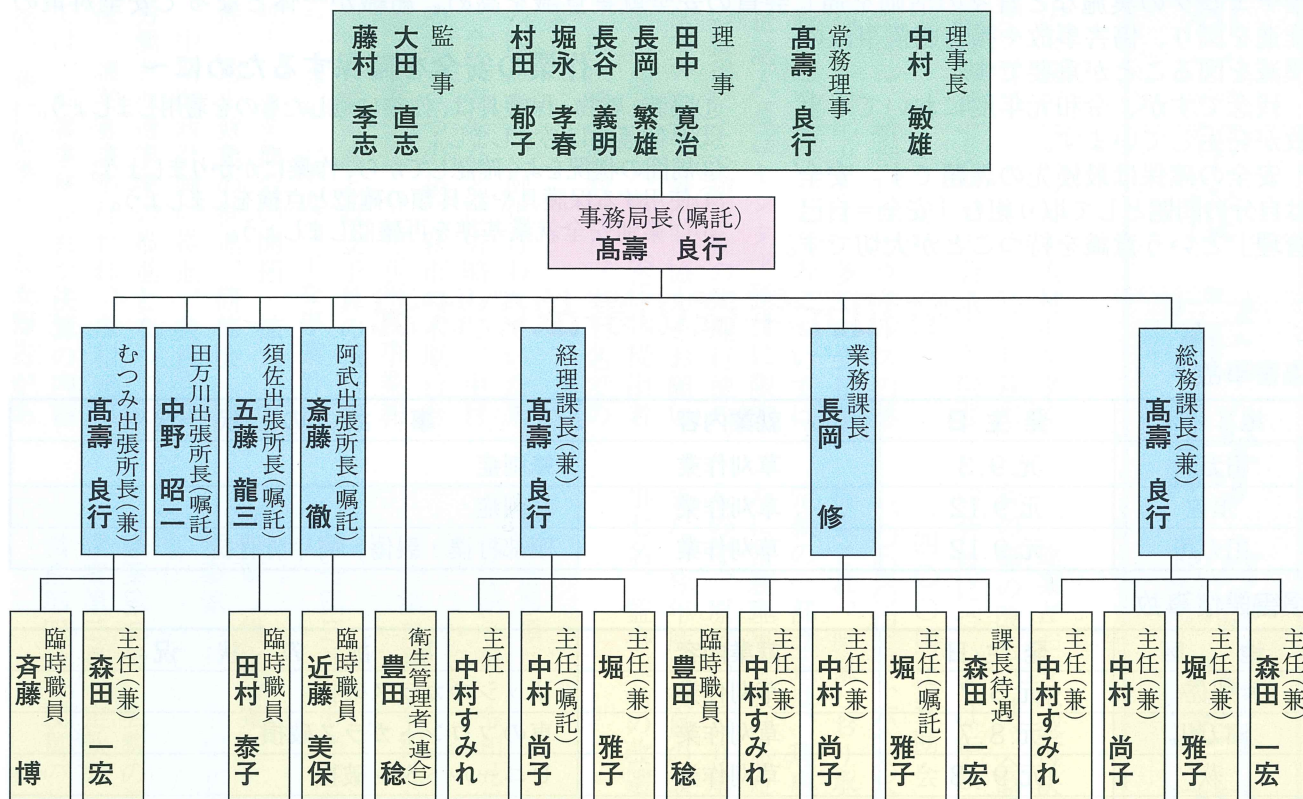
年度別の地区別会員数の状況

※数値は各年度の3月末の値

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
萩事務所	467	441	388	385	412	374	364	352	313	286	277	279	286	297	308
阿武出張所	105	112	92	95	94	93	91	86	82	62	57	57	52	51	53
むつみ出張所	59	55	46	43	46	44	45	37	38	37	38	40	36	39	40
須佐出張所	93	82	89	84	80	73	67	67	63	61	60	57	55	56	54
田万川出張所	80	82	67	66	67	64	57	62	52	50	49	47	48	42	46
合計	804	772	682	673	699	648	624	604	548	496	481	480	477	485	501
(男)	511	487	440	434	455	412	399	397	368	331	330	333	331	333	353
(女)	293	285	242	239	244	236	225	207	180	165	151	147	146	152	148

公益社団法人萩広域シルバー人材センター機構図

令和2年6月2日現在



**会員親睦旅行
中止のお知らせ**

毎年、三十名前後の会員に参加してもらって、楽しい親睦旅行を行ってききましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、中止することとなりました。楽しみにしておられる会員もいらつしやると思いますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

配分金のゆうちょ銀行への振り込みについて

ゆうちょ銀行への配分金の振り込みについて、令和四年(二〇二三年)四月から振込手数料が掛かるようになります。現在ゆうちょ銀行をご利用の会員のみなさまにおかれましては、可能であれば、山口銀行(萩支店に限る)または、萩山口信用金庫へ振込先の変更のご協力をお願いいたします。本人名義の通帳をご用意のうえ、事務局の総務課または各出張所へご連絡をいただければ手続きをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

センターからお盆休みのお知らせ

八月十三日(木)～十四日(金)の間、勝手ながらお休みさせていただきます。十七日(月)から業務を再開いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

編集後記

○今年度も会員の皆様への適時適切な情報提供に努めるとともに、当センターの知名度・社会的信用をより一層高める広報を目指し、委員全員で活動して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

○今号では、私たちの日常生活に様々な影響を及ぼしている新型コロナウイルスの対策を取り上げました。マスクを使用する今夏は、例年とは違った熱中症予防策も求められそうです。

広報委員会 構成				
委員長	長谷 義明	副委員長	長山 雅範	委員
委員	長岡 繁雄	委員	上田 勝	委員
委員	齊藤 敏男	委員	高壽 良行	委員
委員	中村すみれ			